

# 神戸 雨ごいおまんだら

昭和五十九年六月五日号

県道勢子辻吉原線沿い、神戸二丁目に「おまんだらさん」と呼ばれ、地域の人々に親しまれているお堂があります。このお堂は、日蓮宗の開祖日蓮上人を祭るお堂で毎年祭典が行われ、賑わっています。

## 曼陀羅まんだらをかけてお題目

鎌倉時代の話です。ある日、日蓮上人が神戸の部落を通りかかったときのことです。このあたりは日照りがひどく、村人は大そう困っていました。みんなदैいつししようけんめい神様や仏様に祈りましたが、雨は降りそうもありません。この様子を見て日蓮上人は「さ

あ、みんなの衆、これにかけてお祈りなされ」と法華経の曼陀羅を書いて差しました。村人たちは、これを櫛へ掲げお題目を唱えたところ、一転にわかにかき曇り大粒の雨が降りだし、畑の作物がよみがえりました。この日が旧暦八月十一日だったそうで毎年祭典が行われていましたが、今年から七月の第二土曜日に行われます。

## 法蔵寺へお迎えに

地元に住む赤洲秀心さんは祭りの様子を次のように語ってくれました。三ツ倉の法蔵寺に安置されている「お曼陀羅さん」を当番がお

迎えにいけます。

時間がくるとお堂に入り、みんなに御開帳  
されます。

御開帳の時間も昔は深夜の十二時でしたが  
今では九時に御開帳され、終わるとすぐに法  
蔵寺まで帰ります。



かつての祖師堂



モダンに建て替えられた祖師堂